

平成29年3月19日

市民活動発表会  
—まちづくりについて考えよう—  
**成果集**



**輝く加東 まちづくりコンソーシアム**

## はじめに

自分たちのまちを住みやすくしていこうと、まちづくりや地域づくりに主体的に取り組む団体やサークルなどが増えつつあります。まちづくりは人づくりでもあり、市民一人ひとりの意識づくりから始まっています。市民がお互いの活動内容を知り交流することで、さらなる協働のまちづくりの担い手の増加につながってきています。

加東市は、大学のあるまちの優位性を活かし、兵庫教育大学と行政、地域、団体、企業など様々な主体が連携・協働し、魅力ある地域社会の創造を目指す「輝く加東 まちづくりコンソーシアム」を平成23年に設立しました。

「輝く加東 まちづくりコンソーシアム」は設立以来、特に市の重要課題である公共交通や公共施設の適正化について市民の皆さまからご意見を伺い、まちづくりについて考える機会を設けてきました。

今回で2回目の開催となりました市民活動発表会—まちづくりについて考えよう—は、先進的に活動されている佐用町の江川地域づくり協議会の皆さまや、平成28年度に加東市まちづくり活動費補助事業に認定された団体をはじめ、様々なまちづくり活動に取り組まれている団体から、活動について発表していただきました。まちづくりへの思いやその取組、活動を通して見えてくる課題などから、市民と行政が協働して取り組むまちづくり活動の大切さを広く共有していただければと思います。

参加いただきました団体の皆さま、ご来場いただいた皆さまに紙面を借りて感謝申し上げますとともに、この成果集が市民の皆さまの協働の輪を広げる機会となれば幸いです。

## 目次

1	開催概要	1
2	活動発表	2
3	意見交換	10
4	総括	14
5	アンケート結果	15
6	おわりに	17
7	輝く加東 まちづくりコンソーシアムの紹介	19



加東市マスコットキャラクター  
加東伝の助

## 1 開催概要

日時 平成29年3月19日（日）午後2時～午後4時

場所 滝野文化会館 大ホール

主催 輝く加東 まちづくりコンソーシアム

次第 ◆ 開 会

◆ あいさつ

○輝く加東 まちづくりコンソーシアム 会長 あらき つとむ 荒木 勉

○加東市副市長 よしだ あきひろ 吉田 秋広

◆ 活動発表・意見交換

○出演者

・江川地域づくり協議会（佐用町）センター長	<small>えかわ</small> 岡野 <small>としあき</small> 俊昭
・社商店連合会	<small>よしだ</small> 吉田 <small>いさみ</small> 伊佐見
・和太鼓 夢工房	<small>わたなべ</small> 渡辺 <small>まき</small> 真希
・加東市パワーリフティング協会	<small>ささくら</small> 笹倉 <small>みちふみ</small> 伯文
・おどるかどには福きたる実行委員会	<small>おおはし</small> 大橋 <small>しょう</small> 翔
・M <sup>3</sup> Smile 南山笑顔	<small>やまもと</small> 山本 <small>まさよし</small> 政義
・社地区地域づくり協議会	<small>みき</small> 三木 <small>ひでふみ</small> 秀文
・三草ふれあい広場	<small>こなし</small> 樹梨 <small>りんぞう</small> 林三

○コーディネーター

・特定非営利活動法人 加東市国際交流協会理事長 ひらかわ よねかず 平川 米一

◆ 総 括

◆ 閉 会

◇ ロビー 三草ふれあい喫茶

各団体活動内容のパネル展示

◇ 社高等学校生活科学科 開発商品「桃ピューレキーマカレー」を参加者へ配布

## 2 活動発表

### えかわ —江川地域づくり協議会（佐用町）—

佐用町江川地区は、兵庫県西部に位置し、岡山県北東部に隣接しています。「この江川に住んで良かった」「いつまでもこの江川に住み続けたい」と思える地域を目指して、住民の参画による地域づくりを進めています。地域が抱える課題への取組として、地域デマンド交通※「江川ふれあい号」の運行による地域内の移動手段の確保やふれあい喫茶の実施による高齢者を中心とした住民の憩いの場を提供しています。

また、地域資源を活かした魅力ある地域づくりとして、「<sup>おんみょうじ</sup>陰陽師の里江川 <sup>きとえかわ</sup>七夕行列」の開催、江川栗の復活を目指した「焼き栗」の実演販売による江川栗のPRを行っています。

### ■<ことおこし 人おこし 物おこし>による江川の里づくり

地域の課題を住民自らが協議し、取り組むことで、子どもから高齢者までが豊かな自然の中で共に助け合い、安全で安心して楽しく暮らすことができる地域づくりを進めています。また、豊富な地域資源を有効に活用して地域の魅力をPRすることにより、交流人口の増加や特産品の開発・販売につなげ、地域の活性化を図っています。



江川地域づくり協議会（佐用町）センター長  
岡野 俊昭 さん

地域内の定期バス路線が平成21年10月末で休止されたため、移動手段を確保するために平成22年10月から地域デマンド交通の実証運行を開始し、平成24年4月1日から本格運行しています。「江川ふれあい号」として1日4往復運行し、1回乗車で運賃が300円、年間利用者数は延べ3,000人程度です。運転手の高齢化、後継者育成などの課題と向き合いながら運行を続けています。

また、ふれあい喫茶「ほっとえかわ」を実施し、高齢者を中心とした住民の憩いの場を提供しています。

これまでの取組をさらに発展させ、地域の活性化と持続可能な組織づくりを目指すとともに、活力や魅力あふれる「江川地域」にしていくため、今後も地域住民の参画による地域づくりを進めたいと考えています。

※地域デマンド交通：利用者の要求に対応して運行する予約型輸送サービス。



地域デマンド交通「江川ふれあい号」



ふれあい喫茶「ほっとえかわ」

## 一社商店連合会一

加東市の中心市街地である社は、古くから佐保神社の門前町として栄え、中国縦貫自動車道の滝野社インターに近く、国道175号と372号が交差する交通の要衝<sup>ようしゅう</sup>であることから「北播磨の中心」、そして「官庁のまち」としても位置付けられています。社商店連合会に加盟する53店舗はそれぞれの個性を活かし、市街地で商売に励んでいます。社に来られた方のために、従来の商店街のマップではなく、社商店街を中心に市役所や法務局、裁判所、警察署、学校等の公共施設をはじめ郵便局や銀行、大型店等の商業施設、佐保神社や仏閣等の観光施設を掲載した、わかりやすい手作り感のあるマップを作成し、観光客のみならず地元の人たちにも親しまれる商店街を目指しています。

### ■マップを活かしたまちづくり

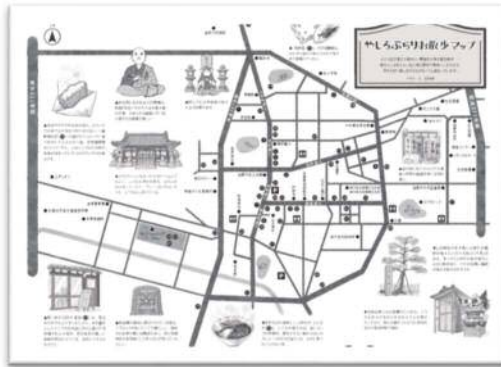
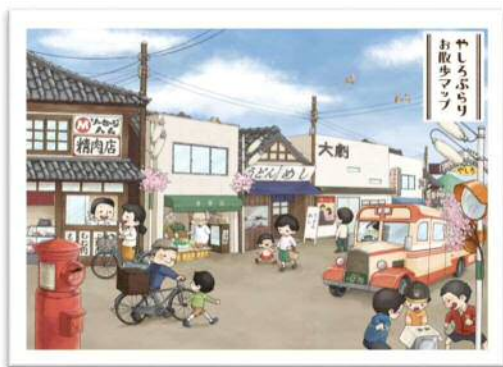
社商店連合会53店舗は社市街地で商売に励んでいます。来訪者から「法務局はどこですか?」「裁判所はどこにありますか?」と、よく道を聞かれるため、社に来られた方のためのマップを作成しました。従来の商店街マップではなく、商店街を中心に市役所や法務局、裁判所、警察署、学校等の公共施設、郵便局や銀行、大型店等の商業施設、神社仏閣等の観光施設を掲載するだけでなく、地元の人のみぞ知る情報を掲載することで街並み散策も楽しめるマップを作成しました。また、表紙には約50年前の写真を基にした懐かしの社市街地風景を全面に描き、やさしくほのぼのとしたイメージにすることで、観光客だけでなく地元の人達にも手に取ってもらいやすく、社市街地のPRになっています。

山田錦や歴史的観光施設など、魅力満載なまち加東市をもっと内外にアピールすることにより、知名度向上の効果を見込んでいます。

マップの作成によりPR効果が高まるため、スタンプラリーなどマップを用いた販売促進につながる商店街イベントを開催し、往時のように賑わい、お客様に喜んでもらえる商店街にしたいと考えています。



社商店連合会  
吉田 伊佐見 さん



社市街地マップ『やしろぶらりお散歩マップ』

## 一和太鼓 夢工房一

和太鼓を通して、地域の活性化、福祉の向上、青少年の健全育成を前向きに応援していくことを目的に活動しています。「和太鼓であったか in とどろき」は、毎年、大勢の方にご来場いただき、楽しんでいただいています。イベントの少ない東条地域では特にみなさん心待ちにしてくださり、沢山の応援をいただいています。

会場のお客様と一体となった舞台を心掛け、和太鼓の持つ魅力を発信、継承しています。

### ■会場と一体となった舞台を心掛けて

和太鼓 夢工房は今年で15周年を迎えました。当初3人だったメンバーは、増えたり減ったりを繰り返しながら、現在は13人で活動しています。10年前から「和太鼓であったか in とどろき」というイベントを続けています。毎年1月の第2日曜日、午後1時から開催していますが、お正月明けのめでたい席ですので、みんなで新年を祝いながら、楽しんでいただいています。イベントの少ない



和太鼓 夢工房  
渡辺 真希 さん

東条地域では特にみなさん心待ちにしてくださり、毎年、大勢の方のご来場、沢山の応援をいただいています。

10年間続けてこられたのは、一人ひとりのお客様からいただく励ましの言葉がエネルギーになっているからです。会場のお客様と一体となった舞台を心掛け、和太鼓の持つ魅力を発信、継承しています。

今後は、和太鼓リハビリや子どもの指導に取り組み、子どもから年配の方々までが一堂に楽しめるイベントを増やしていきたいと考えています。また、他のチームとの様々なコラボをしていき、心のつながりを広げていきたいと思っています。



「第10回和太鼓であったか in とどろき」での演奏



## ー加東市パワーリフティング協会ー

パワーリフティングを通じてスポーツ・文化交流を図ることを目的に、スポーツ祭を開催しています。トップアスリートと子どもの交流の場をつくり、トレーニングを普及させ、また、高齢者の介護予防につなげています。部活動をする中学生など、多数の人にトレーニングを行ってもらうきっかけにもなっています。高齢者層の取り込みを進めるため、イベント協力などを呼びかけて地域の核となっていけるよう枠組みを考えていきます。

### ■トレーニングでまちづくり

加東市パワーリフティング協会では「トレーニングでまちづくり」をテーマに活動しています。

トップアスリートと子どもの交流の場をつくることを目的に、毎年メインステージでパワーリフティングのデモンストレーションを行う「スポーツ祭 ばかぢから」をやしろショッピングパーク B i o で開催させていただいています。

加東市パワーリフティング協会では、スポーツにおいて優勝や勝利がテーマであるように、収入増と医療費削減をテーマにまちづくり活動をしています。普段トレーニングに関わる機会の少ない家族連れや高齢者にも、イベントではトレーニングに触れてもらえています。

今後は、トレーニングを普及させて高齢者の介護予防や医療費削減につなげるなど、地域の核となるような枠組みを考えていきたいと思っています。

まちづくりとともに、パワーリフティングでも世界を舞台に結果を出し続けていきたいと考えています。



加東市パワーリフティング協会  
笹倉 伯文 さん



「スポーツ祭 ばかぢから」の様子



## —おどるかどには福きたる実行委員会—

広く世代を超えて民謡・舞踊を広めること、今まで民謡・舞踊に関わりのなかった方々にふれあっていただくことを目的に活動しています。民謡・舞踊に手話を織り込み、より多くの方々に楽しさを感じていただけるよう取り組んでいます。また、民謡・舞踊を通して交流し、つながりを深めることで、新たな発見を生み出し、加東市の活性化に貢献したいと考えています。

### ■踊りを通じて様々な団体との交流を

踊りの発表会を「おどるかどには福きたる」と題し、平成29年4月16日の開催に向けて1年間活動をさせていただいています。広く世代を超えて楽しんでいただける内容にしようと、準備段階



おどるかどには福きたる実行委員会  
大橋 翔 さん

で手話の指導をしていただきました。手話に関わったことで、手話への興味が湧き、手話歌だけでなく日常会話にも挑戦したいと思うメンバーが増え、踊りの練習中にメンバー同士で習った手話を復習するなど、より身近なものを受けとめられるようになりました。

これまで関わりのなかった団体との交流によってハンディキャップを持つ方への理解も少しずつ深まりましたし、人には様々な不便さや事情があり、皆で助け合わなければいけないという意識が生まれました。

私たちにできることは、来ていただいたお客様に楽しんでいただけるように舞台を頑張ることです。この踊りの発表会がきっかけとなって、地域での会話が生まれたり、他の地域の催しごとへの興味が出たり、このまちに目を向

ける人が増えればと思い、これからも活動を続けていきます。

発表会のPRを行う中で、地区のみなさんと会話する機会が増え、貴重な勉強になりましたし、多くの方と知り合い交流することができました。若いメンバーには、踊りを続けていく中で将来もこのまちで住みたい、このまちを良くしたいという意識が生まれています。これもまちづくりのひとつだと思っています。これからも私たちの活動を見てくださるお客様のことはもちろんですが、メンバーのやりがいや達成感を大事にしながら活動させていただこうと思います。



かとう民謡フェスティバル



伽の里でのボランティア

## —M' Smile 南山笑顔—

南山地区の活性化に尽力し、市内のさまざまなイベントや地域行事に参加し、加東市の発展につながればという思いで活動しています。また、子どもからお年寄りまで幅広い方々に元気と笑顔を届けられるよう世代を超えたつながりを育みながら、明るい未来を目指して、地域に密着した活動をしています。

### ■親しみやすい音楽に合わせた和太鼓の演奏、パフォーマンスで皆が楽しく元気に！！

私たちは、南山に住む小学1年生から6年生までの合計13人をメンバーとして、親しみやすい音楽に合わせて和太鼓の演奏をするというグループです。南山自治会というのは、発足してまだ十数年という歴史の浅い新興住宅地です。今から3年前に、南山の夏祭りで子どもに太鼓をたたかせてやろうということで始まりました。

早速、太鼓をどうするのかという問題に直面しましたが、先ほどの和太鼓夢工房さんの全面的な協力があり、夏祭りのステージを見事に成功させることができました。反響は非常に大きく、他の自治会の秋祭りに呼んでいただいたり、南山のグループホームから出演依頼を受けたりするようになりました。

南山自治会はもちろん、和太鼓夢工房の皆さん、メンバーのご家族の惜しみない協力をいただきながら、現在に至っています。

練習、イベントなど、自治会と一緒に活動することで、子どもからお年寄りまで、沢山の方とふれあうことができています。その結果、当初からの目的である「皆が楽しく元気に」、「世代を超えた繋がりを育む」ことが達成できています。

この時代に、一つのイベントを協力しあい成功させるという世代を超えた繋がりは、地域の皆さまのご協力のおかげであり、南山だからこそできたことだと思います。今後も、世代を超えた繋がりを大切にし、地域密着の明るい未来を創造すべく尽力し、頑張っていきます。



M' Smile 南山笑顔  
山本 政義 さん



南山夏祭り



道の駅とうじょう感謝祭

## —社地区地域づくり協議会—

社小学校区は、24地区で構成され、都市型と旧来の田園地帯の農村地区が共存している地区であり、ここ数年、集合住宅が多くなっています。コミュニティも希薄になっているため、四季折々のイベント、安全・安心のまちづくり、集落との交流による三世代交流の充実、伝統文化の継承を通じて、夢きらめく、元気な地域づくりを目指しています。安全・安心のまちづくりのために、子ども見守り隊活動の充実を図り、災害時に活用できる住民個票を作成したほか、夏のフェスティバルを市と共催し、長寿を祝う会にあわせて秋のフェスティバルを開催しています。

### ■三世代交流の充実

社地区地域づくり協議会は、区長、自治会長などを中心とした役員73名で構成され、平成29年1月現在で24地区、5,261世帯、人口が1万2,589人の大きな団体です。各事業の役割分担を明確にして、各地域の団体で分担しながら進めています。



社地区地域づくり協議会  
三木 秀文 さん

安全・安心のまちづくりとして、子ども見守り隊による登下校時の見守りを行っています。

災害時の備えでは、独居老人や高齢者夫婦の世帯がおられますので、地域別に住民個票を作成し、地図に色分けして落とし込んでいます。支援の必要な世帯が、一目でわかるようになっています。

夏のフェスティバルは、市と共催で3,000人くらいの方が集まってくれています。最後には花火もある大きなイベントです。滝野や東条といった、他の地区からの参加も増えてきており、引き続き地域を盛り上げていきたいと思っています。

秋のフェスティバルは、長寿を祝う会をメインにしたイベントです。高齢の方ですので、一人では来られない方のために、民生委員が中心となって送迎もさせていただいています。出演者は地元の保育園、幼稚園、小学校児童にお願いすることで、保護者とともに三世代交流を図っています。長寿を祝う会の対象高齢者1,300人に対して出席者は300人程度です。今後は出席者をもっと増やしていきたいと考えています。



夏のフェスティバル



長寿を祝う会 送迎の様子

## －三草ふれあい広場－

三草小学校区を対象に、住民組織による身近な活動の「場」づくりと地域活動をすることを目的に、地域間・世代間交流、都市住民との交流、地域の歴史や社会資源の再確認、敬老会などの活動を行っています。あわせて、地域活動ができる人材発掘にも努めています。

小学校区単位の広域的な活動が定着しつつあり、歴史遺産や産業、まちづくりを相互に知ることで、地域の魅力を再確認し、地域創生に役立っています。また、ふれあい喫茶や地域ふれあい運動会で保育園児や小学生が活躍することにより、地域と教育の関わりが深まっています。

### ■地域活動ができる人材発掘を

三草ふれあい広場は、平成29年1月現在で三草小学校区の10地区、845世帯、約2,300人を対象にしたまちづくり活動を、平成20年度から行っています。

これまでは集落単位での地域活動が主でしたが、小学校区単位での広域的な活動が定着してきています。

平成21年に作成した「わたしの村の自慢マップ」を活用し、ワクワク探検を実施して集落にある歴史遺産、産業やまちづくりを知ることで、地域の魅力を再確認し、地域間交流を楽しんでいます。また、「海のまち・山のまち」交流事業として明石市の江井島地区との交流も深めています。

安心・安全のまちづくりため、消防団員の昼間不在に対応するための初期消火活動、震災時の対応、振り込め詐欺等の防犯活動など、防災・防犯の啓蒙活動を推進しています。

ふれあい喫茶では、三草こども園園児の発表、小学校児童の作品展などを中心に行っていますが、喫茶部会を設置することで女性の地域活動への関心が深まり、新たな活躍が期待できます。地域ふれあい運動会も含めて、地域と教育の関わりが深まっていることを実感しています。

今後は行政との連携を強め、引き続き事業を継続していくとともに、組織・活動への参加意欲を醸成し、人材発掘、さらなる女性の参画を進めていきます。



三草ふれあい広場  
樹梨 林三 さん



三草ふれあい喫茶での園児の発表



地域ふれあい運動会

### 3 意見交換

#### ① 活動していて満足しているところについて

(コーディネーター)

皆さま方からいろいろと活動内容を聞かせていただきました。

まず、活動していて感じる達成感や充実感、満足していることをお聞かせください。



コーディネーター

特定非営利活動法人加東市国際交流協会理事長

平川 米一 さん

(岡野俊昭さん)

地域づくり活動の中でイベントの準備や終わってからの連帯感がうれしいなというのはありますが、デマンドバスで利用者の方に喜んでいただいていることに本当の意味で充実感があります。バス内での利用者同士の会話や、運転手への感謝の言葉は随分うれしいものです。

他の行事等でも、協力をたくさんしていただいた方に、笑顔で「やってよかったね」という気持ちでやっていくと長続きするのではないかと考えています。

(三木秀文さん)

様々な企画を、役員会で協議しながら進めています。

参加された住民から「よかったな」と言っていたときに、達成感を感じる時です。楽しんでいただけたらやってよかったなと思います。

(樹梨林三さん)

三草ふれあい広場でワクワク探検をやっており、小さな上福田地区（三草小学校区）ですが、それぞれの地域で先輩たちから言い伝えられているものがたくさんあります。そういうものを他の地域の方にワクワク探検で知らせることができる。実際に歩いてみて、こんなものがあったのかと感動されている姿を見たときに、やってよかったなと、ワクワク探検マップを作ってよかったなと思います。

**活動の準備や運営を通じて、地域住民とのつながりを実感されています。さらに「楽しかった」「よかった」といった感謝の言葉をかけてもらうことで達成感や充実感を感じ、新たな活動、次の活動への意欲となっています。**



## ②問題や課題について

### (コーディネーター)

それぞれに達成感があるから、今の活動が続いているんだと思います。活動するにあたって、場所や人、お金の面で苦労されていると思いますが、いかがでしょう。

### (渡辺真希さん)

和太鼓は皆さんもご存知のように、音がとても大きくて遠くまで響きます。外でどんなに大きな音が響こうが気にしないんですが、練習や自主公演では、音が響くがゆえに場所に困ります。防音をしているところでなくてもいいのですが、音の響きと、お客様の人数とで場所に苦慮します。

あとは、交通の便が悪く、自主公演を楽しみにしてくださっている年配の方の交通手段がないことに困っています。

### (吉田伊佐見さん)

社商店連合会は53店舗あり、みんなそれぞれに頑張ってお客様を呼んでいます。店があると人が賑わうということがあります。空き店舗が多くなってきていますので、若い人に起業して店を持っていただきたいと思っています。連合会がお手伝いをして、新しい商店主を呼び込むことで、社地域全体の活性化につながるのではないかと考えています。

### (山本政義さん)

我々のステージを見て、私もやりたい、僕もやりたいという子どもさんはたくさんいます。ところが、自前の太鼓がないがゆえに、夢工房さんの太鼓をお借りして演奏している現状です。メンバーが増えることによって、指導者の問題、場所の問題等いろいろ出てきますが、今のメンバーの保護者の方々と話し合っ、今後の方針を決めていかないといけないと思っています。

### (三木秀文さん)

少子高齢化になって、子ども会がないとか、消防団員が少なくなってきたとか、どこの地域でもこういう問題が出てきています。新しい住民が来ても、活動団体への参加がまだ少ない。消防団、青年団、子ども会などが立ち上がっていかねばいけない。老人会も次の世代を育てていくような形に

やっぴかないと活動を続けることができないし、まちづくりには団体の活動が継続してつながって  
いくことが必要だと思ひます。

**(大橋翔さん)**

地元の方々を集めて何か活動をするときに、やはり楽しんでいただくことが重要です。郷土愛とい  
うようなものに頼って人を集めるには限界があると思ひます。イベントを開く側が、できるだけ楽し  
んでいただける内容を考へていくことが重要だと思ひます。

**(笹倉伯文さん)**

パワーリフティング協会では常にトレーニングと関わってしまして、社高校の野球部員や柔道をし  
ている子どもなどにトレーニングを教へています。スポーツに関しては、このまま加東市は日本一、  
世界一を狙える子が絶対出てくると思ひています。そのため、私たち大人が何をしてやったらいい  
のかを見据へて活動しています。

加東市パワーリフティング協会で力を入れているのは、子ども、若者への指導です。世界で戦える  
子どもを加東市で抱えることをテーマとしています。加東市パワーリフティング協会ではアマチュア  
スポーツで固めているので、選手が育った場合や、世界大会でチャンピオンになった場合、加東市に  
住みながら活動を行ってもらふことができると考へています。すると、その世界チャンピオンに教へ  
てほしい子が集まり、加東市で職を探して、加東市に住んで、トレーニング環境を与えらると、世界大  
会を加東市で開くことも可能だと思ひます。パワーリフティング、アマチュアスポーツでまちおこし  
をすることで、都市の予算を加東市、田舎北播磨に持つてくることができると考へています。アマチ  
ュアスポーツを推している団体、高齢者が子どもたちを応援することを推している団体、加東市パワ  
ーリフティング協会を今日は憶へて帰ってほしいなと思ひます。

**活動場所に関する地理的な問題と、指導者や後継者の不足という人的問題があります。  
限られた条件のなかで、今後、活動を継続・拡大していくための工夫が必要です。**



**(コーディネーター)**

今度は会場の皆さまに、発表者への質問やご意見を伺いたいと思います。ご意見、ご質問のある方、いらっしゃいませんか。

**(来場者)**

社商店連合会では、4月19日から5月21日までスタンプラリーの計画があります。佐保神社、善龍院、持宝院、円妙寺、市街地の施設を巻き込んで、地域の人にスタンプラリーをしていただけたらありがたいと思います。秋にも計画がありますのでマップを配布したいと思います。

商店街では拠点を探しているんですけども、下水工事の関係で足踏み状態です。チャレンジショップや新規起業の方の応援をしたいので、市の関係者の協力をお願いします。

**(コーディネーター)**

発表者の皆さま、最後に言っておきたいことはありませんか。

**(樹梨林三さん)**

私は民生委員もしていますが、高齢の方は何か集まりがあるといってもなかなか外出されないんです。元気な時からグラウンドゴルフやゲートボール、いろんなイベントに出てお話することで元気や喜びをもらえますので、小さな活動でも皆続けて顔を出してほしいなと思います。

**(コーディネーター)**

ありがとうございました。発表者の皆さまには、今日の見解を参考にして活動にご参加いただきたいと思ひますし、市の関係者の方も今日の見解を参考にして、施策への反映をお願いしたいと思ひます。



市民活動発表会場ロビーでの三草ふれあい喫茶



## 4 総括

皆さまの発表をお聞かせいただいてどの方からも共通して感じたことは、取り組んでいる自分自身が、活動の中で充実感を感じておられることです。これは非常に大事なことです。もうひとつは、自分の活動によって地域の方々に充実感、満足感を何とかして得てもらいたいという気持ちを持っておられることです。

活動のスタートの動機は大きく2つに分かれています。高齡化、過疎化など地域の状況に必然性がある活動がスタートした場合と、趣味の延長としての取組からスタートした場合です。どちらが良い、悪いではなく、両方とも満たしてほしいというのが、まちづくりコンソーシアムの願いです。自分自身がいいなと思うまちのイメージを確認していただきたいと思います。



輝く加東 まちづくりコンソーシアム  
会長 荒木 勉 さん

まちは常に息をしながら、変化をしながら生きています。その一員として、この瞬間からまちづくりに関わっていただきたいというのが、私どもの願いです。

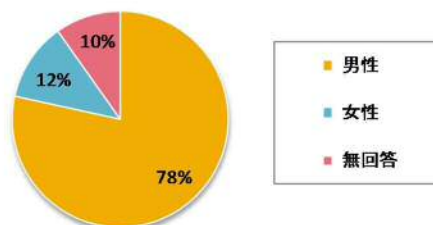
まちづくり活動には、やはり課題があります。課題を何とか解決していこうとするときには、民間の人たちの努力だけではどうにもしがたいことが横たわっています。いくつもある組織、組織間の連携で課題が全て解決するとは思いませんが、解決するように連携をとる仕組みを、行政として考えるのがこれからの大事な早急にやるべき課題ではないかと思いました。皆さま方もこれからいろいろな活動をご覧になって、ご意見を拝聴させていただきたいと思っていますので、重ねてお願いをさせていただきます。ありがとうございました。

## 5 アンケート結果

来場者数 143人 回答 51人（回答率36%）

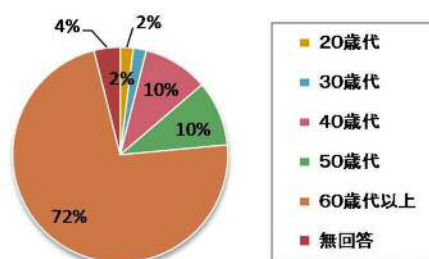
### 1 性別

選択肢	回答数
(1) 男性	40
(2) 女性	6
(3) 無回答	5
計	51



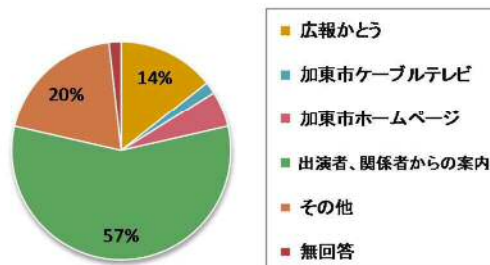
### 2 年齢

選択肢	回答数
(1) 20歳代	1
(2) 30歳代	1
(3) 40歳代	5
(4) 50歳代	5
(5) 60歳代以上	37
(6) 無回答	2
計	51



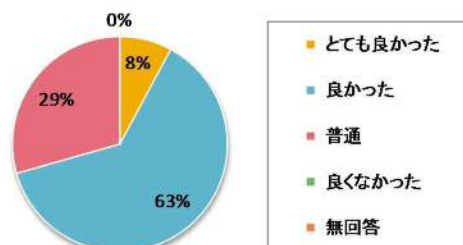
### 3 この発表会を何で知りましたか？（複数回答あり）

選択肢	回答数
(1) 広報かとう	8
(2) 加東市ケーブルテレビ	1
(3) 加東市ホームページ	3
(4) 出演者、関係者からの案内	32
(5) その他	11
(6) 無回答	1
計	56



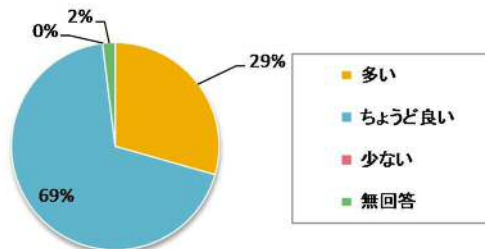
### 4 来場していかがでしたか？

選択肢	回答数
(1) とても良かった	4
(2) 良かった	32
(3) 普通	15
(4) 良くなかった	0
(5) 無回答	0
計	51



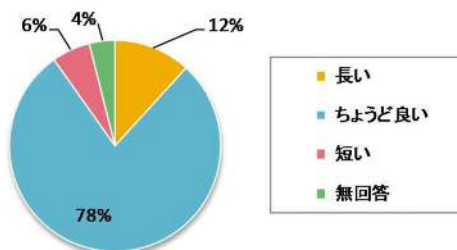
5 発表団体の数（8団体）はいかがでしたか？

選択肢	回答数
(1) 多い	15
(2) ちょうど良い	35
(3) 少ない	0
(4) 無回答	1
計	51



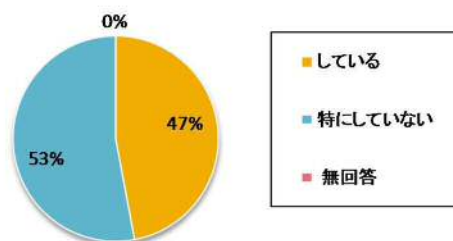
6 活動発表、意見交換の時間はいかがでしたか？

選択肢	回答数
(1) 長い	6
(2) ちょうど良い	40
(3) 短い	3
(4) 無回答	2
計	51



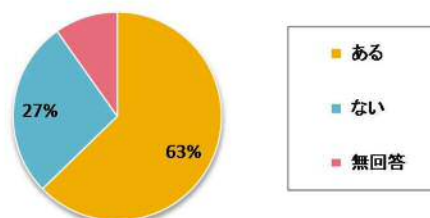
7 まちづくりや地域づくりなどに関する活動をされていますか？

選択肢	回答数
(1) している	24
(2) 特にしていない	27
(3) 無回答	0
計	51



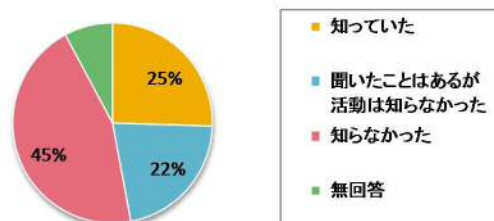
8 協働のまちづくりの大切さや、市民のみなさまの役割について考えたことがありますか？

選択肢	回答数
(1) ある	32
(2) ない	14
(3) 無回答	5
計	51



9 輝く加東まちづくりコンソーシアムについて、ご存知でしたか？

選択肢	回答数
(1) 知っていた	13
(2) 聞いたことはあるが活動は知らなかった	11
(3) 知らなかった	23
(4) 無回答	4
計	51



## 6 おわりに

本発表会において、出演団体、来場者から以下のような意見が寄せられました。  
寄せられた意見は、今後の活動発表会、加東市のまちづくりに活用させていただきます。

＜まちづくり活動を活性化させていくには、どのようなことが必要だと考えますか？＞

- 地域住民参加拡大につながる施策
- 住民間の協力、意識の向上
- 広報の充実（新聞地域版で取り上げてもらう。市民、地元の方々だけではなく、他地域からも足を運んでもらう活動が必要。）
- 人材の発掘、リーダーの育成
- 若い世代の活動
- 幅広い世代がバランスよく楽しめる、充実感を味わえる取組
- 行政の支援と各種団体との連携
- 活動資金のサポート
- 他団体との交流、イベント開催
- ジャンルの違う人同士のつながり
- 活動のPR（SNS、専用HPなどを通じての発信）
- 将来を見据えた広い視野
- 地元愛
- 公共交通機関の整備



### <発表会についてのご意見>

- 広報の充実（幅広く市民に知ってもらうことと、それぞれの活動の中で他団体のPRも必要。）
- 意見交換では、課題が共有できたのではないか
- 若者の活躍できる場の提供を（今後のまちづくりには若い力、考え方が重要だと思う。）
- 主催者が取材や活動を撮影し、短い動画で紹介するとよい（パワーリフティングの動画は分かりやすくよかった。）
- 発表は、地区の活動をする参考になる
- 団体数を減らし、更に詳しい部分を聞きたかった



核家族世帯や単身世帯の増加、市民意識の多様化などにより、地域における交流・つながりが希薄になってきています。これからのまちづくりは、行政と市民、地域、各種団体等との協働により進めていくことが大切になります。

この度の市民活動発表会では、地域が抱える課題の解決や地域リーダーの育成などに取り組む団体から様々な意見や問題提起をしていただきました。現在、まちづくり活動に携わっておられる方はもちろんのこと、これからまちづくり活動に参加してみようという方にとっても参考になる、非常に興味深い内容であったと思います。

いただいた貴重な意見を、今後のまちづくりに活かしていくとともに、このような活動発表の場を継続的に設けることで、市民の皆さまの新たなまちづくり活動の一助になればと考えています。

平成29年3月

輝く加東 まちづくりコンソーシアム事務局（加東市協働部企画協働課）

## 7 輝く加東 まちづくりコンソーシアムの紹介

### (1) 組織の概要

#### ア 目的

兵庫教育大学のあるまちの優位性を生かし、大学と行政のみならず、地域、NPO、企業など様々な主体が連携し、それぞれの特性を活かした協働を通じて、教育学習、人材育成及び地域発展に関する事業を行い、魅力あふれる地域社会の創造を目指す。

#### イ 構成団体

加東市、兵庫教育大学、加東市商工会、小野加東青年会議所、加東市いずみ会、加東市観光協会、加東市区長会、加東市国際交流協会、加東市小学校長会、加東市中学校長会、加東市連合PTA、はあとネット、みのり農業協同組合、社高等学校、米田ふれあい協議会  
(以上15団体)

アドバイザー：兵庫県北播磨県民局

### (2) 取組状況

#### ア 地域課題解決に向けた取組

- (ア) 設立記念フォーラム (平成23年12月17日)
- (イ) 学生フェスタ「こんな加東市に住んでみたいな」 (平成24年11月11日)
- (ウ) 加東市地域公共交通フォーラムー私たちのまちの交通を考えようー  
(平成26年2月23日)
- (エ) 加東市公共施設の適正化フォーラム～未来ある子どもたちのために～  
(平成27年1月24日)
- (オ) 市民活動発表会ー私たちのまちづくりー (平成28年3月12日)

#### イ 子育て支援に関する取組

- (ア) 子育て支援講座の開催 (平成22年度から毎年度実施)

#### ウ 加東市・兵庫教育大学連携プロジェクト

##### (ア) オリジナル健康食開発

「食」の大切さについて改めて認識してもらうとともに、日常の食生活を今一度見直してもらおうと、兵庫教育大学との協働により栄養学の観点を取り入れ、加東市産の食材を使用したオリジナル健康食を開発。(いずみ会調理協力)

##### (イ) 「教育子午線のあるまち」モニュメント

兵庫教育大学が取り組む教員養成課程を、子午線が通る日本の中心・加東市から全国へ発信し、加東市を「教育子午線のあるまち」としてまちづくりに取り組むシンボルとしてモニュメントを設置。(設置場所：東野街角公園)



## 市民活動発表会

—まちづくりについて考えよう—

平成29年3月

<編集・発行>

輝く加東 まちづくりコンソーシアム

<事務局>

加東市協働部企画協働課

〒673-1493 兵庫県加東市社50

TEL0795-43-0388/FAX0795-42-5633

